

平成28年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立信夫第一小学校長

平成28年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科の実施となりました。

国語と算数の2教科については主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であるとともに、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	72.9%	○				
国語B	57.8%	○				
算数A	77.6%	○				
算数B	47.2%	○				

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	79.2%	○				
書くこと	72.8%					○
読むこと	78.5%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.1%	○				

【考察】

- 目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合うことに課題が見られました。話し合いの際にはメモを取って比較したり、関連のあることをまとめたりして聞く習慣を身に付けさせていきます。
- 表現をよりよくするために、書く事柄を整理することができていました。しかし、どのような助言に沿って書き直したのか選択する問題では、選択肢を的確に解釈できませんでした。
- 目的に応じて図と表とを関係付けて読むことに課題が見られました。必要な情報に印をつけ、整理して読ませています。また、物語文の登場人物の人物像を考えるために、人物像がわかる行動や会話などに印をつけたり線を引いたりして、整理して読むことができるようにしていきます。
- ローマ字を読んだり書いたりすることに課題が見られました。3学年での学習にとどまらず、読んだり書いたりする機会を増やすことや情報の学習と関連付けたりして、正しく読み書きができるようにしていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	51.1%	○				
書くこと	53.4%	○				
読むこと	69.3%	○				

【考察】

- 目的や意図に応じて、グラフや表をもとに自分の考えを書くことに課題が見られました。表やグラフから読み取ったことを整理して書く機会を増やしていきます。また、相手や目的に応じて記述する内容や用いる資料を適切に選ぶことができるようにしていきます。さらに報告文を書くときには、成果ではなく課題に視点をおいて書く機会をつくり、考えを深めさせていきます。
- 目的に応じて複数の本や文章を比べ、自分の考えを明確にしながら読むなど効果的な読み方を工夫することに課題が見られました。文章に書かれている内容を読み取る際には、中心となる語や文に印を付けるなどして正確に読めるようにしていきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	80.5%	○				
量と測定	77.0%	○				
図形	78.8%	○				
数量関係	68.5%	○				

【考察】

- 小数のわり算の商の求め方につまずきが見られました。わる数とわられる数に同じ数をかけても答えは変わらないことを理解していない児童が多く見られました。計算の原理をよく考えさせながら、計算の仕方を理解することができるように指導していきます。
- 1m^2 あたりの人数を求める問題に課題が見られました。また、前と後ろに並んでいる場合の全体の人数を求める問題も、その間に立つ1人を見落としていました。問題場面を具体的にイメージできるように、繰り返し問題文を読む習慣を身に付けさせるとともに、図を使って何が問われているのかを把握できるように指導していきます。
- グラフから、もとにする量と比べられる量を見分ける割合の問題に課題が見られました。算数の授業にとどまらず、日常生活における様々な場面を取り上げ、割合の問題として「何をもとに、何を比べるのか」考える力をつけていきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	44.4%	○				
量と測定	43.7%	○				
図形	36.3%	○				
数量関係	42.9%	○				

【考察】

- 正方形の縦を短くして横を長くすると面積がどうなるかを考えさせる問題に課題が見られました。自分の考えを言葉や式などの表現を用いて説明する機会を設けていきます。
- スタートから4台目のハードルまでの距離を求める問題に課題が見られました。問題場面をイメージできるように絵や図を使って表し、正確に読み取ることができるような活動を取り入れていきます。
- 円の中に一番大きな正方形を描く問題に課題が見られました。目的に応じてコンパスを用いる作図を増やすよう工夫していきます。